

指導方法等の改善計画

【東広島市立もみじ小学校】

【課題が明らかになった問題の分析と改善策】

1. 国語

	問題番号	育てたい力	対象学年	授業改善の具体策	検証方法
1	3三(1)	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる力	第6学年	・「複数の情報を関係づけて読む」单元において、目的に応じて二つの資料の内容を関連付けて読んでいく機会をつくり、必要な情報の取り出しを経験する。 ・他教科でも、調べ学習の機会をつくる。自分の考えを発表する際に、資料の中で注目した部分について問うようとする。	1月 単元テストを実施する。 1月 3三(1)の問題を解く。
2	2四ア	漢字を文の中で正しく使うことができる力	第6学年	・授業のはじめに行う漢字の読み書き練習に、下学年の漢字も取り入れる。 ・作文した際には、誤字脱字の修正や推敲する時間を必ず設定する。	1月 2四アの問題を解く。

2. 算数

	問題番号	育てたい力	対象学年	授業改善の具体策	検証方法
1	1(2)	目的に応じて適切なグラフを選択して数量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる力	第6学年	・「データの調べ方」「データを使って生活を見直す」单元において、様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて複数のグラフから適切なグラフを選択し、データの特徴や傾向を捉えさせる機会をつくる。	1月 単元テストを実施する。
	1(3)	二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる力		・解答の理由をどのように表現すると分かりやすいか考えさせる。	
2	3(2)	分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つかを数や言葉を用いて記述できる力	第6学年	・分数の通分と約分について意味を復習する機会をつくる。「共通する単位分数のいくつ分になるか」という設問の意味を確かめさせる。 ・異分母分数の加法と減法の計算問題に取り組ませる。	2月 3(2)の問題を解く。
3	4(4)	「10%増量」の意味を理解し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる力	第6学年	・日常生活の中で見られる百分率の表示をいくつか紹介し、どういう意味なのか説明させる。 ・百分率を用いた表し方を確認し、割合の文章問題を解く練習をさせる。	2月 4(4)の問題を解く。

3. 理科

	問題番号	育てたい力	対象学年	授業改善の具体策	検証方法
1	2(1)	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを整理して理解する力	第6学年	・磁石の性質と電気の通り道に関する学習内容を復習する機会をつくる。 ・アルミニウム、鉄、銅など、生活中でどのように使用されているものか、改めて整理して教える。	2月 2(1)の問題に取り組む。
	2(2)	電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができる力		・問題の回路について図に表し、なぜ電気を通すのか考え、説明させる機会をつくる。 ・誤答の理由を考えさせる。類似の別問題に取り組む時間を設定する。	
2	3(4)	種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現することができる力	第6学年	・新しく出てくる理科用語や結論でまとめたことについては、繰り返し意味を問うようにし、定着を図る。 ・見つけた差異点や共通点を話題にし、次時に関わる疑問を引き出す。乏しい表現に言葉を加えて、改めて発言を促すようにする。	2月 3(4)の問題に取り組む。
3	4(1)	問題解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができる力	第6学年	・問題解決学習の流れに沿って授業し、結果に対し考察していく場面で、自分の言葉で表現することを促す。 ・考察したことに基づき、結論をまとめていく場面で、観察や実験方法の妥当性を検討するよう問い合わせ、その視点を持たせる。	2月 2(2)の問題に取り組む。